

ポーランド・マクロ経済情勢

2018年12月
在ポーランド日本国大使館
経済班

ポイント

1 経済成長率は上昇基調

2017年のGDP成長率は4.8%（推計）で、経済成長率は大幅に伸びた（2016年は2.9%）。政策金利は史上最低の1.5%を維持している。

2 生産、消費は拡大傾向

10月の鉱工業生産は前年同月比7.4%増。小売販売は対前年同月比7.8%増で、生産及び消費は引き続き拡大傾向にある。

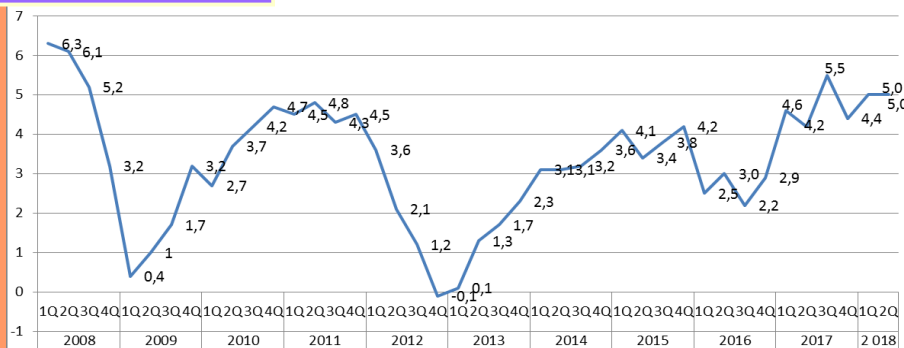
3 物価は上昇傾向

10月の消費者物価指数（CPI）は、対前年同月比1.8%上昇。2018年2月から2ヶ月連続で中央銀行のインフレ目標値2.5±1%目標値を下回ったが、4月以降は目標値の範囲内で推移している。

4 失業率は過去最低水準、賃金は上昇継続

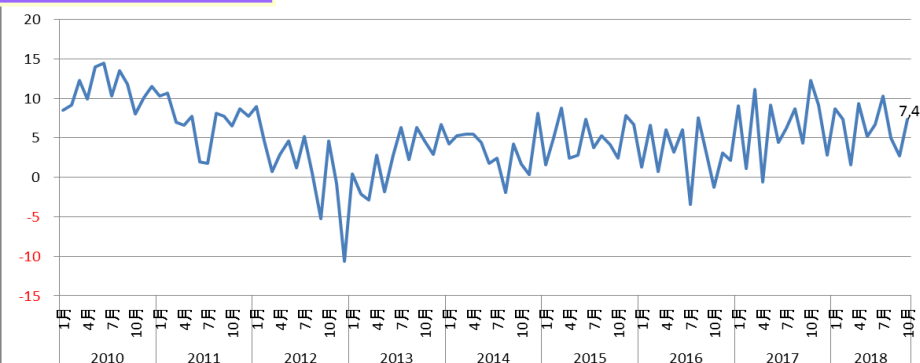
10月の失業率は5.7%、平均賃金上昇率は対前年同月比7.6%増。失業率は前月から横ばいとなった。

経済成長



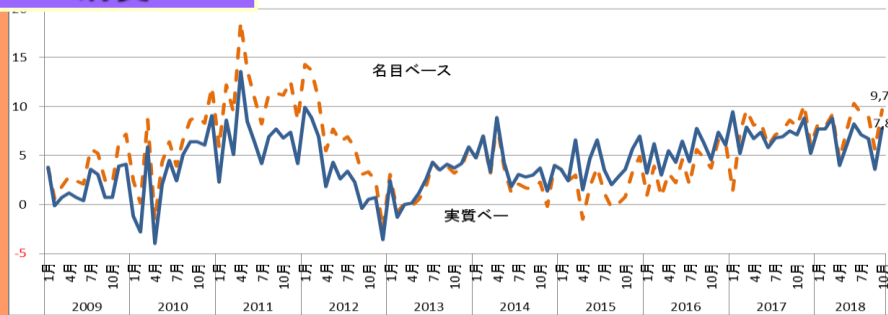
経済成長率は2016年よりも大幅に上昇。消費の伸びやEU基金を活用したインフラ整備等が寄与。

生産

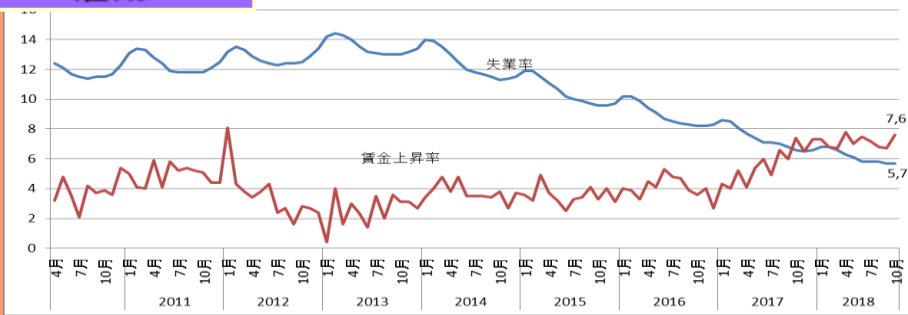


鉱工業生産は前年同月比7.4%で、引き続き拡大傾向にある。

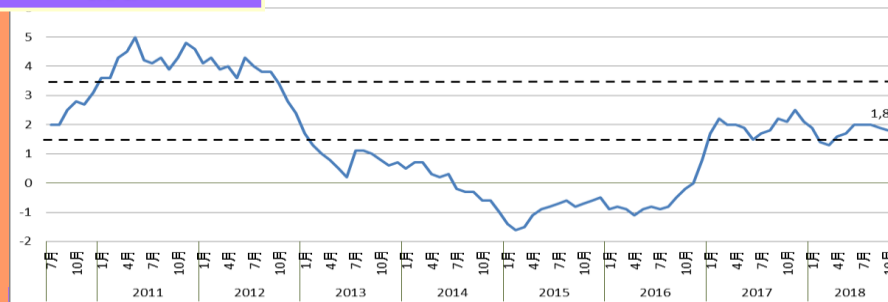
消費



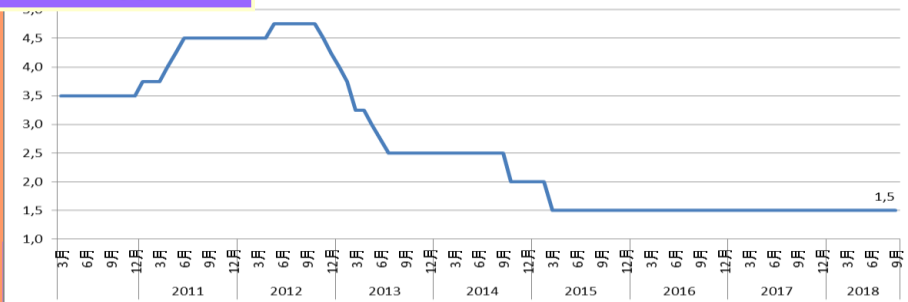
雇用



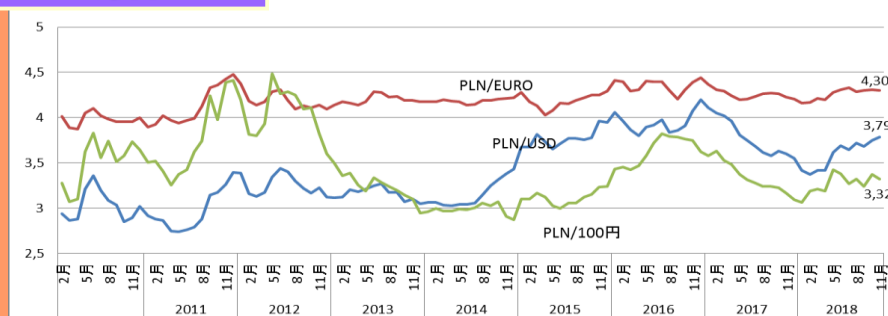
物価



金利



為替



貿易

